

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社フジ食品湘南工場	階数	地上2F
建設地	平塚市西八幡一丁目70-1、70-2、70-3	構造	S造
用途地域	工業地域 防火地域指定なし	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,120時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年6月4日
敷地面積	2,988㎡	作成者	株式会社 関野建設
建築面積	1,593㎡	確認日	2019年6月4日
延床面積	2,228㎡	確認者	株式会社 関野建設



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		
Q1 室内環境 ・天井裏を含め70%以上にF☆☆☆☆の建材を使用し、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	Q2 サービス性能 ・天井高を高く確保することで、室内の快適性の向上に配慮している。 ・耐用年数の長い内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル ・主要水栓は節水器具とし、水資源の保護に配慮している。 ・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	LR3 敷地外環境 ・駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。 ・光害対策ガイドラインチェックリストの項目の一部を満足している。 ・広告物照明はない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される